

親鸞聖人御作阿彌陀如来像

親鸞（1173～1263 年）は日本の宗教史において最も尊敬を集めている人物の一人である。浄土真宗という人気の高い宗派を創設する以前、親鸞は京都の北東部にある天台宗の総本山である比叡山の修行僧であった。経典の達人となっただけでなく、親鸞は優れた彫刻家でもあった。法住寺にある阿彌陀如来の立像は、親鸞の才能を示す優れた作例である。鉋鎌を使って彫られたと言われているこの像は、黒漆が塗られており、親鸞自身が足に刻んだ銘によってその来歴が確認されている。